

錯覚の仕組みを利用した手法

2012年6月

株式会社サクセス

**人間の目は自分が思っているより正確ではありません。
感覚器に異常がないのにもかかわらず、実際とは異なる知覚を
得てしまう事があります。
これらは普段は生活の中で役に立っている目の機能ですが、
ある場面で極端な形で表れて錯覚がおこります。**

**対象物に対して誤った感覚や認識を得てしまい
正しいモノが間違っ見えたり、逆に間違ったモノが
正しく感じてしまいます。**

**「錯覚」は誰にでも起こるものです。
ですからその仕組みを理解し利用する事でさまざまな効果を
ひきだす事ができます。**

- 『錯覚を利用した建造物』
- 『錯覚を利用した簡略化モデル』

『錯覚を利用した建造物』

建造物（立体物）に遠近法などを使用する事で
実際よりもスケールのある造形物のように
見せる事ができます。

Q. どちらの通路が長いでしょうか？



1



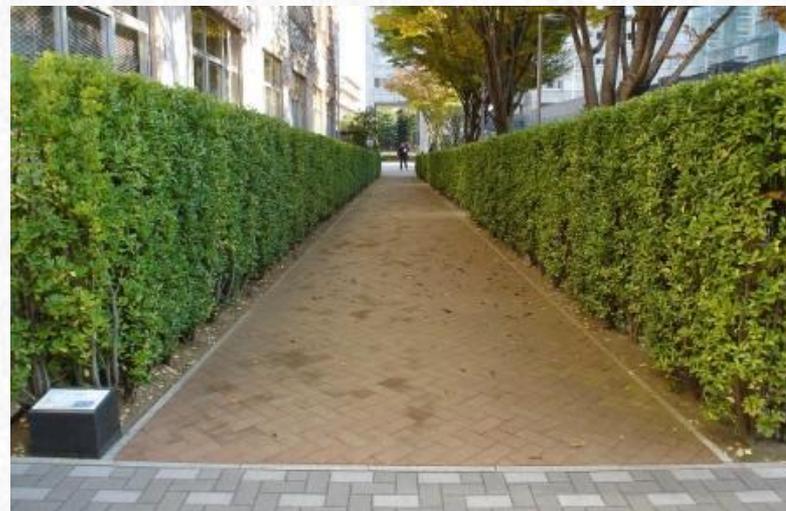
2

引用 「立教大学の生垣錯視」立教大学・新座キャンパス(埼玉県)の生垣錯視。 Photo by Akiyoshi Kitaoka 2008 (May 18)

A. 実は同じです



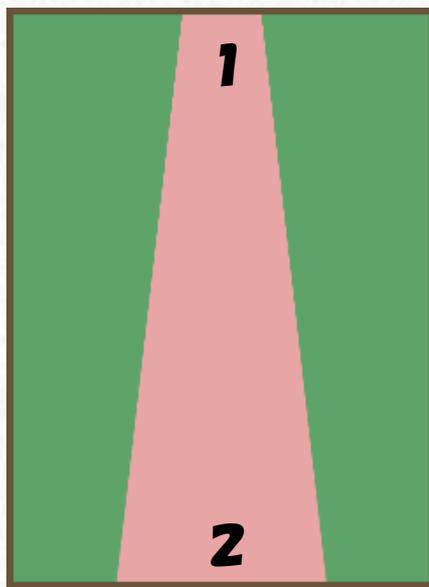
1



2

引用 「立教大学の生垣錯視」立教大学・新座キャンパス(埼玉県)の生垣錯視。 Photo by Akiyoshi Kitaoka 2008 (May 18)

- 『強化遠近法』…目の錯覚を起こさせ実際の高さよりも高く、実際の距離よりも遠く見せる造形。



通路上面図

- 『進出色』 …赤やオレンジや黄色など、前に飛び出て見える色。
- 『後退色』 …青など後ろに引っ込んで見える色。



進出色



後退色

『錯覚を利用した簡略化モデル』

人間の目は特定の規則に配置されたモノを別のモノと認識する事があります。それを利用する事によって小さいサイズのモノの認識度の向上やデータサイズの軽減をおこなう事ができます。

Q. これは何に見えますか？



A. 顔ですね



NASA バイキング1号が撮影した写真

- 『パレイドリア』…対象物が別のモノ/であることは理解しており、顔や動物ではないという批判力を持っているが一度そう感じるとなかなかその知覚から逃れられない。



山形県
善寶寺の人面魚

善寶寺の境内にある龍神の池に棲む鯉が人の顔に似ているといわれ、人気を呼んだ。龍神の池では時折、突如雷雨になるなど不思議な現象が起こるともいわれている。

- 『シュミクラ現象』…点や線などが逆三角形に配置されたものを見ると、脳は顔と判断してしまう。



引用 顔道のサイトより



引用 愛媛県 第45番札所 岩屋寺

まとめ

**最初に説明したとうり人間の目は正確ではありません。
デザイナーはそれらの機能理解した上で
利用してデータを作成しています。**